

## FutureNet RA-630 SmartCS シリーズ接続設定例

エスアイアイ・ネットワーク・システムズ株式会社

本資料は、センチュリー・システムズ株式会社製 セキュリティアプライアンス製品 FutureNet RA-630 につきまして、弊社製品コンソールサーバ SmartCS シリーズを RADIUS 認証クライアントとして利用する場合の設定の補助資料です。

RA-630 の設定の詳細につきましては製品添付のマニュアルをご確認ください。SmartCS シリーズの設定の詳細につきましても「取扱説明書」、「コマンドリファレンス」をご確認ください。

### ■ RADIUS 認証/アカウントサーバについて

製品名	FutureNet RA-630
メーカー	センチュリー・システムズ株式会社
確認済みソフトウェアバージョン	1.7.6
設定方法	WEB による機能個別設定とウィザード設定※
AUTH ポート	1812 and 1645 (変更可)
ACCT ポート	1813 and 1646 (変更可)

※ 本資料では機能個別設定を前提として解説しています。

## ■ RADIUS 認証サーバの基本設定

- 「RADIUS」項目内「サーバ」項目の「基本情報」で設定します。
- RADIUS 認証/アカウントングを行うポート番号と認証方式を SmartCS シリーズの RADIUS サーバ設定と一致させてください。SmartCS シリーズのデフォルトのポート番号は「1812/1813」です。RA-630 のポート番号はデフォルト設定の「1645/1646 と 1812/1813」のままでも構いません。認証方式は「PAP/CHAP」を選択してください。

The screenshot shows the 'Basic Information' (基本情報) page for RADIUS server configuration. The left sidebar has 'サーバ' (Server) selected, with sub-items like '起動・停止' (Start/Stop), '基本情報' (Basic Information), '二重化' (Redundancy), 'アトリビュート' (Attributes), 'アドレスグループ' (Address Groups), 'クライアント' (Clients), 'ActiveDirectory', 'LDAP', and 'ログ' (Logs). The main content area is titled 'ポート番号' (Port Numbers) and '認証方式' (Authentication Method). Under 'ポート番号', there are two rows: '認証用' (Authentication) with values '1812, 1645' and 'アカウントング用' (Accounting) with values '1813, 1646'. Under '認証方式', the '認証方式' (Authentication Method) is set to 'PAP/CHAP'. Below that, the 'RADIUSサーバ証明書' (RADIUS Server Certificate) section has a radio button for '使用しない' (Do not use) selected, and an option for '本装置の証明書を使用する' (Use certificate of this device). A '設定・編集' (Settings/Edit) button is at the bottom right. The footer contains the copyright notice: '© Copyright 2005-2009 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.'

## ■ RADIUS 認証クライアントの設定

- 「RADIUS」項目内「サーバ」項目の「クライアント」で設定します。
- SmartCS シリーズの「IP アドレス (例では 10.5.31.230)」、RADIUS 認証サーバと共通の「シークレットキー (例では network)」を設定します。

The screenshot shows the 'Client Change' (クライアント変更) page for RADIUS client configuration. The left sidebar has 'サーバ' (Server) selected, with sub-items like '起動・停止' (Start/Stop), '基本情報' (Basic Information), '二重化' (Redundancy), 'アトリビュート' (Attributes), 'アドレスグループ' (Address Groups), 'クライアント' (Clients), 'ActiveDirectory', 'LDAP', and 'ログ' (Logs). The main content area is titled 'クライアント変更' (Client Change) and contains fields for 'クライアント名' (Client Name) set to 'SmartCS', 'IPアドレス' (IP Address) set to '10.5.31.230', 'シークレット' (Secret) set to 'network', and 'アドレスグループ' (Address Group) set to '指定しない' (None). A '設定' (Settings) button is at the bottom right. The footer contains the copyright notice: '© Copyright 2005-2009 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.'

## ■ ユーザの登録方法

### ➤ 認証ユーザの登録方法

- ◇ 認証ユーザは「RADIUS」項目内「ユーザ」で設定します。
- ◇ ユーザ ID、パスワード、SmartCS シリーズにアクセスするユーザ用に作成したユーザプロフィールを設定します。認証ユーザを作成するには先に「ユーザプロフィール」の作成が必要です。例では、ユーザ ID (portuser1) にユーザプロフィール (portuser) を設定しています。設定後はパスワードは表示されません。

The screenshot displays a web-based user management interface. On the left is a navigation menu with icons for 'サーバ' (Server), 'プロフィール' (Profile), and 'ユーザ' (User). The 'ユーザ' section is expanded, showing options like 'ADユーザ', 'LDAPユーザ', 'ファイル読み込み', and 'ユーザ検索'. The main content area is titled 'ユーザ設定' (User Settings) and shows a table of user information:

ユーザ設定	
ユーザID	portuser1
プロフィール	portuser
IPアドレス	
ネットマスク	
ロック	ロックしない

Below this table are three buttons: '編集' (Edit), '削除' (Delete), and 'ユーザー一覧' (User List). Below that is a section titled 'ユーザ設定 (詳細)' (User Settings (Details)) with several tabs and fields:

- ユーザプロフィール** (User Profile): portuser
- 基本** (Basic): SmartCS (with a blue '編集' button)
- 認証** (Authentication): PAP/CHAP (with a blue '編集' button)
- 同時接続数** (Simultaneous Connections):
- IPアドレス割り当て** (IP Address Assignment): 未使用 (Unused)
- アドレスプール** (Address Pool):
- 応答** (Response): portuser
- Filter-Id**: erp1 (with a blue '編集' button)
- グループ** (Group):
- 証明書** (Certificate):

At the bottom right of the interface, there is a copyright notice: © Copyright 2005-2009 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.

➤ ユーザプロファイルの作成

- ◇ ユーザプロファイルは「RADIUS」項目内「プロファイル」で設定します。ユーザプロファイルは複数のプロファイルや証明書などから構成されます。
- ◇ SmartCS シリーズで利用するユーザプロファイルを作成するには、「ユーザ基本プロファイル、応答アトリビュート」の設定が必要です。先に「ユーザ基本プロファイル、応答アトリビュート」を作成します。

プロファイル名	基本	認証	応答	グループ	証明書	編集	削除
normal	SmartCS		normal			編集	削除
portuser	SmartCS		portuser			編集	削除
admin	SmartCS		admin			編集	削除
any	SmartCS					編集	削除

➤ ユーザ基本プロファイルの作成

- ◇ プロファイル名、認証方式を設定します。SmartCS で認証するユーザの認証方式は「PAP/CHAP」を選択します。（ここでの認証方式は前述の「RADIUS 認証クライアントの設定」と同じ認証方式を選ぶ必要があります。）

ユーザ基本情報プロファイル 変更

プロファイル名 SmartCS

認証方式 PAP/CHAP

同時接続数

IPアドレス割り当て  未使用  RADIUSクライアント  アドレスプール  固定

アドレスプール 指定しない

設定

➤ 応答アトリビュートの作成

- ✧ 認証成功時に、RA-630 から SmartCS シリーズに送付されるアトリビュートを設定します。SmartCS シリーズのアクセスグルーピング機能や filter\_id\_head 機能を利用する場合には、Filter-Id アトリビュートの設定が必要です。例えば、アクセスグルーピング機能で、SmartCS シリーズの管理ユーザを「admin\_grp」、一般ユーザを「normal\_grp」、ポートユーザ 1 を「grp1」とグループ分けする場合は下図のように設定します。RA-630 と SmartCS シリーズの設定でアトリビュートの「値」を一致させる必要があります。

プロフィール名	削除
portuser	削除
admin	削除

新規追加

プロフィール名	アトリビュート	値	編集	削除
portuser	Filter-Id	erp1	編集	削除
	新規追加			
admin	Filter-Id	admin_grp	編集	削除
	新規追加			
normal	Filter-Id	normal_grp	編集	削除
	新規追加			

■ 設定の反映

- 各項目の「設定」アイコンをクリックすると即時反映されます。

■ 注意

- 工場出荷状態では RADIUS 認証サーバ機能は停止しています。「RADIUS」項目内の「サーバ設定」の項目で起動させてください。

■ 補足

- 認証ログは「運用機能」項目内、「ログ情報」項目内の「認証ログ」で確認します。
- アカунトログは「運用機能」項目内、「ログ情報」項目内の「アカウントログ」で確認します。

以上